

2024年12月1日(日) 14:30~14:50
飛騨・世界生活文化センター「飛騨芸術堂」

第6回 飛騨高山学会

『高山市もっと元気にプロジェクト』 ・パイロットアンケート :「文化的処方」としての「祭り」が ウェルビーイングに与える影響

岐阜大学大学院医学系研究科
精神医学分野

塩入俊樹

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構

学び、究め、貢献する



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

2024年12月1日(日) 14:30~14:50
飛騨・世界生活文化センター「飛騨芸術堂」

主な研究メンバー(敬称略)

- 東京藝術大学社会連携センター
伊藤達夫
- 京都大学大学院医学研究科
社会疫学分野
近藤尚己
土生裕
本多由紀子
- 上智大学応用データサイエンス
学位プログラム
深澤佑介
- 長岡造形大学造形学部
建築・環境デザイン学科
福本壘

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構

学び、究め、貢献する



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

東京藝大で「こころの産業」を創出したい!

2024年10月14日
～2024年11月24日

岐阜県主催
+岐阜大学(協力機関)

「清流の国ぎふ」
2024
芸術!

「文化的処方」の心に
与える(短期的)影響

2023年～2033年

東京芸術大学が中核機関として、科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム」(COI-NEXT)の本格型に採択
東京芸術大学「共生社会をつくるアートコミュニケーション」共創拠点

2023年～2033年

岐阜大学大学院医学系研究科
精神医学分野

「芸術が心身に与える影響」

対象地域: 高山市
対象者: 高山市の国民健康保険加入者

「清流の国ぎふ」文化祭2024 企画委員会



東京藝大
日比野学長



岐阜大
吉田学長

「長竹及び良百俣と疾病との相関関係の検証」

対象地域: 飛騨地方(高山市、下呂市、飛騨市)
対象者: 国民健康保険加入者(人口の約半数?)

1992年～2008年⇒2023年～

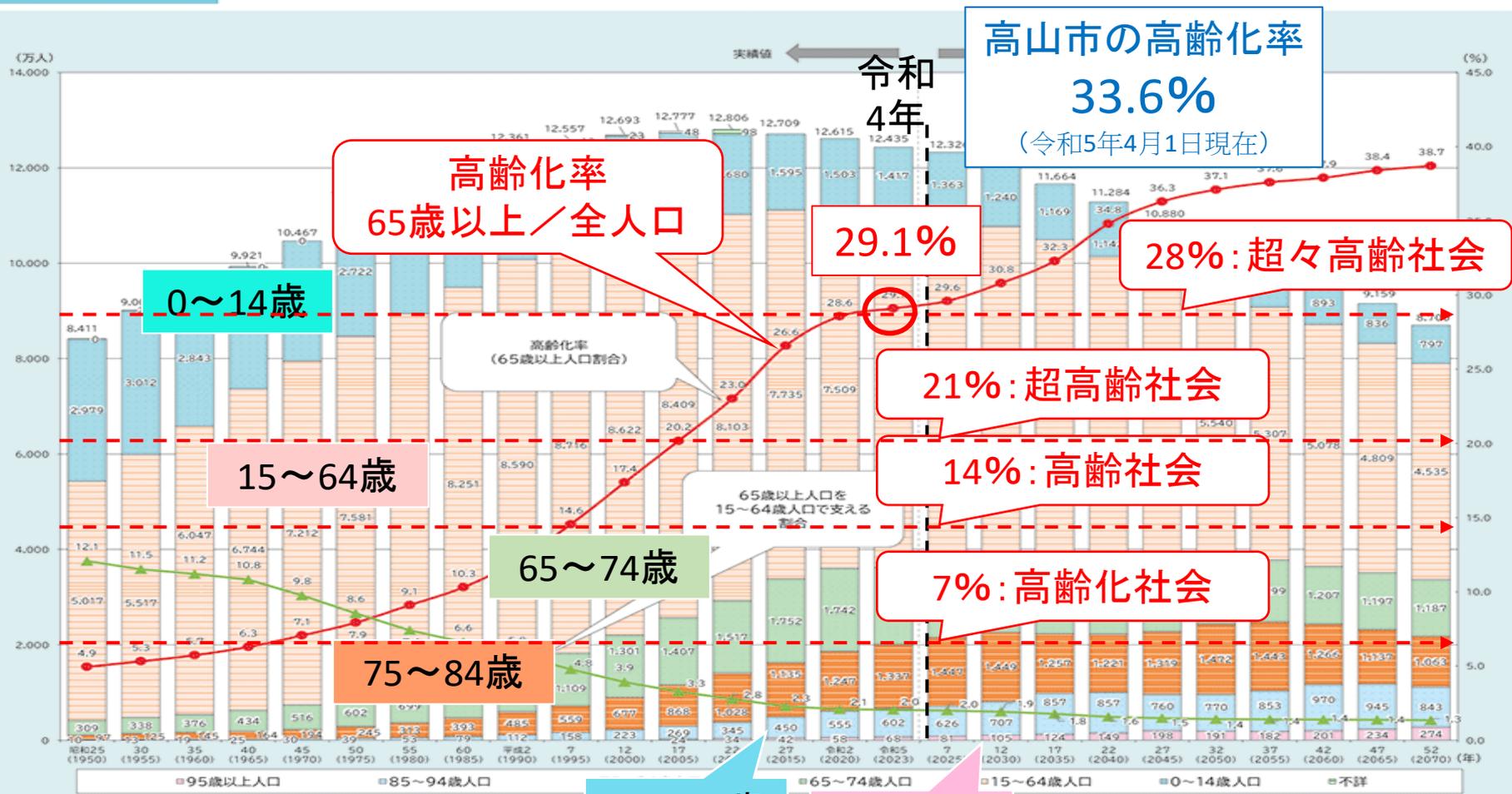
岐阜大学大学院医学系研究科
疫学・予防医学分野

「高山スタディ」

対象地域: 高山市
対象者: 約3万人(当時)
(ただし、15年後なので、生存者数は不明)

インター
特徴な





資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2020年：「人口推計」（令和5年10月1日現在（確定値））、2025年以降は国立社会調査所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

(注1) 2015年及び2020年の年齢階級別人口は不詳補完値によるため、年齢不詳は存在しない。2023年の年齢階級別人口は、総務省統計局「令和2年国勢調査」（不詳補完値）の人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。2025年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「令和2年国勢調査 参考表：不詳補完結果」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2010年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、(注2)における沖縄県の一部の人口を不詳には含まないものとする。

(注2) 沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65歳以上の人口から除き、不詳に含めている。

(注3) 将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じるものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

(注4) 平成12年までは、85歳以上はまとめて「85歳以上」の区分としている。

(注5) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

令和6年版高齢社会白書より

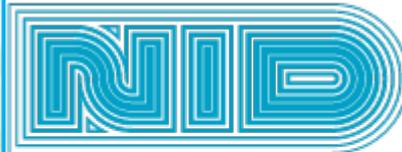
- 最近，超々高齢社会を迎えている我が国において，1980年代からイギリスで行われてきた「社会的処方」という手法が注目を浴びている。
- この「社会的処方」とは，心身の健康に関わる問題を抱える住民に，薬ではなく，コミュニティ（地域）とのつながり（絆）など，生活環境の改善を「処方」することで，ウェルビーイング（well-being: 幸福で健康で順調で満足した状態）を確立し，孤独・孤立を解消しようとする試みである。
- 具体的にイギリスでは，「社会的処方」が必要であると判断された人に対して「リンクワーカー」と呼ばれる”差し渡し役”によって，地域のグループや公的なサービスにつないでいく。つなぐ先は，芸術やスポーツ，園芸などのグループ，ボランティアや図書館などの公的機関まで，様々である。

- 「文化的処方」とは、東京藝術大学が作った造語で、文化芸術を活用する「社会的処方」の一種とされる。つまり、多様な状況にある人々どうしが緩やかにつながり、その人らしくいられる場所を得て、クリエイティブな体験が創り出され、楽しさと感動が生まれ、心が解放され、心地良いコミュニケーションが自然と発生していく、そのような手法・方法・システムが「文化的処方」である。
- 「文化的処方」の効果として、個人に対しては、活動する意欲や幸福感の増進および健康の維持・改善といったウェルビーイングの持続的効果が、また、地域社会やコミュニティに対しては、より寛容で包摂的な環境やシステムが生まれることが期待される。
- ウェルビーイングは近年、国内外での政策においても重要なテーマとして取り扱われている。教育政策や環境政策もその一つであるが、文化芸術活動がどのようにウェルビーイングと関わるのかという視点からの研究はこれまでになかった。



TOKYO GEIDAI

東京藝術大学



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

並
高山市



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

高山市
文化活動の状況などをお聞きする、

ト調査

WIE
ンケ

協力をお願い

アンケート実施時
2024年4月初旬発送
実施期間1か月間を予定

このアンケートは、高山市にお住まいの市民のみなさまの心と体のウェルビーイング（心身ともに健康な状態）を高めていくことを目的として、岐阜大学・東京藝術大学が共同で実施いたします。みなさまの健康状態、文化活動の状況などをアンケート形式でお聞きして、その内容を解析することで、高山市での新たな文化的活動（わたしたちは「文化的処方」と呼んでいます）の創出や、地域コミュニティをさらに盛り上げてまいります。

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



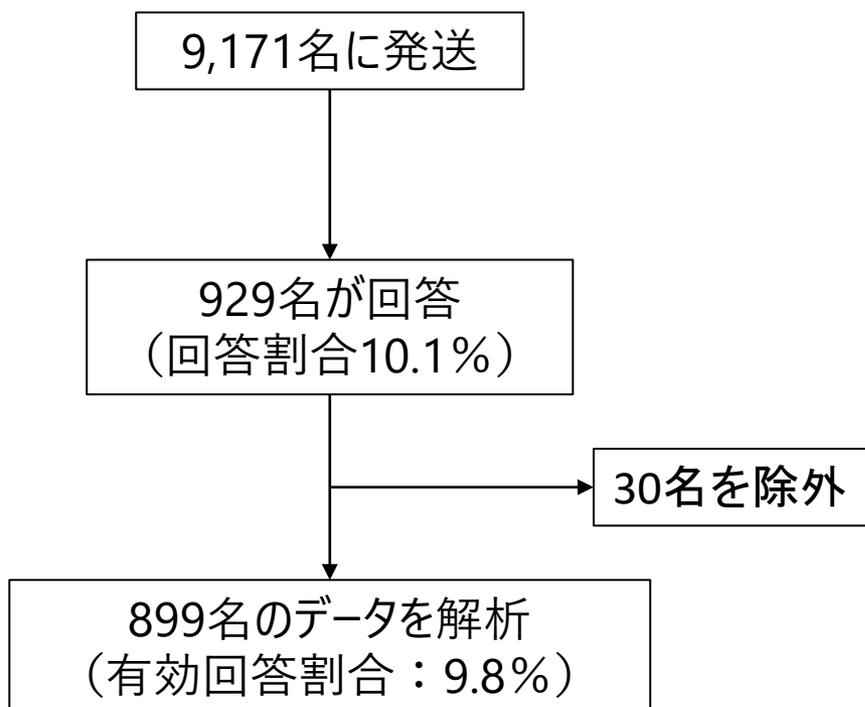
岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

調査への参加対象者：高山市健康診断受診者の方々

高山市にお住まいで、以下の3つの「健診」いずれかを受診されたの方々

- ① 高山市健康診査（15～39歳）
- ② 高山市特定健康診査（40～74歳）
- ③ 高山市すこやか健診（75歳～）

調査回答期間：2024年4月1日～4月30日





アンケート参加者 —人口動態的特徴—

表.1 研究参加者の特徴

	研究参加者 (n=899)	n (%)	欠損, n
性別			
女性		529 (58.8)	
男性		370 (41.2)	
年齢			
平均年齢 (標準偏差)		65.7 (10.4)	
居住状況			
自宅		855 (98.9)	
施設		4 (0.4)	
居住年数			
平均 (標準偏差)		44.2 (10.7)	
同居人数			
配偶者		3.1 (1.7)	
同居		207 (23)	
別居 (市内)		670 (74.5)	
別居 (市外)		11 (1.2)	
子ども			
同居		163 (18.1)	
別居 (市外)		205 (22.8)	

• 年齢の中央値は65歳で、参加者の半分以上が65歳以上

• 女性が約6割と多い

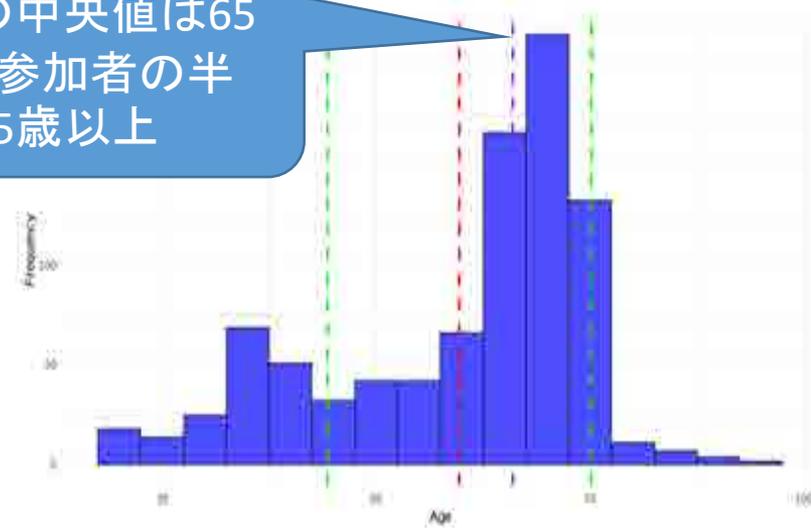
• 平均年齢は約66歳

• ほぼ自宅に住んでいる

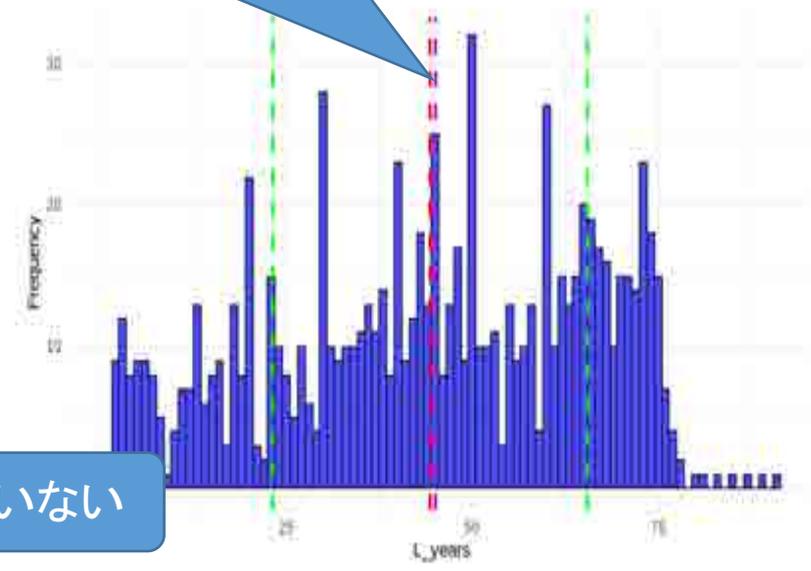
• 平均して3人で居住

• 75%が配偶者と同居

• 子どもと同居が43%、約18%の方が子供がいない



• 平均居住年数が44年と長め



居住年数の分布

表.2 「いきがい」に関する回答の分布

研究参加者

• 約65%の人が、自分の人生の価値を高いと感じている

自分の人生に対する価値度	n (%)
高い	729 (81.1)
いいえ	170 (18.9)

心を動かされる体験が日常の中にある

• 8割以上の人が、日常の中で心を動かされる体験がある

「感動した」などの気持ちを共有する機会	n (%)
ある	654 (72.7)
ない	245 (27.3)

• 約7割の人が感動した気持ちを共有する機会がある

普通
に
感
謝

友
と
の
語
り
合
い

ラ
ン
チ
が
美
味
し
か
っ
た
事

そ
れ
を
分
け
与
え
れ
た
と
き

畑
の
作
物
が
成
長
し
、
収
穫
で
き

飛
騾
の
自
然
、
四
季
の
移
り
変
わ
り

子
供
の
成
長
、
孫
と
の
会
話

人
の
生
き
様
、
や
さ
し
さ

表.3 心をうごかされる内容の-categoriesの頻度分布

動植物 自然	子ども 孫	映像・TV ドラマ・アニメ	映画	生きざま ふるまい 人のやさしさ	出会い 交流	音楽	読書 記事	芸術作品	スポーツ	旅行	仕事	食べ物	家族	その他
375	108	81	22	65	18	41	34	28	24	13	13	11	11	51

その他：日常、友人、表現・創作、SNS、何かを知った時、街並み・建築

• 主に自然や、子供との関わりの中で心が動かされる体験をしている



アンケート参加者

—「文化・芸術的活動」—

表. 4 「芸術的活動」に関する回答の分布

	研究参加者
• 8割の人が、何らかの趣味をもっている	11 (70)
• 4人に1人が、何らかの創作活動をしている	189 (21.0)
• 4人に1人が、何かを鑑賞する機会がある	663 (73.7)
• 45%の人が、造形作品を家に飾っている	672 (74.7)
• 4人に3人の人が、花を家に飾っている	489 (54.4)

• 趣味活動、鑑賞、創作活動がしたいけどできない理由は、時間的余裕がない、忙しい、教室や機会そのものがない、など

表. 8 創作活動がしたいけどできない理由 (n=34)

時間・余裕	教室・機会	経済面	子ども	技術・やり方	健康	疲れる	その気にならない	年齢	スペース	情報
13	7	2	2	2	2	2	2	1	1	1

表. 5 趣味をしたいけどできない理由 (n=75)

時間・余裕*	経済面	健康上	おっくう	場がない
46	6	5	4	3

* 仕事や家事、子育て、介護など。

表. 6 鑑賞したいけどできない理由 (n=52)

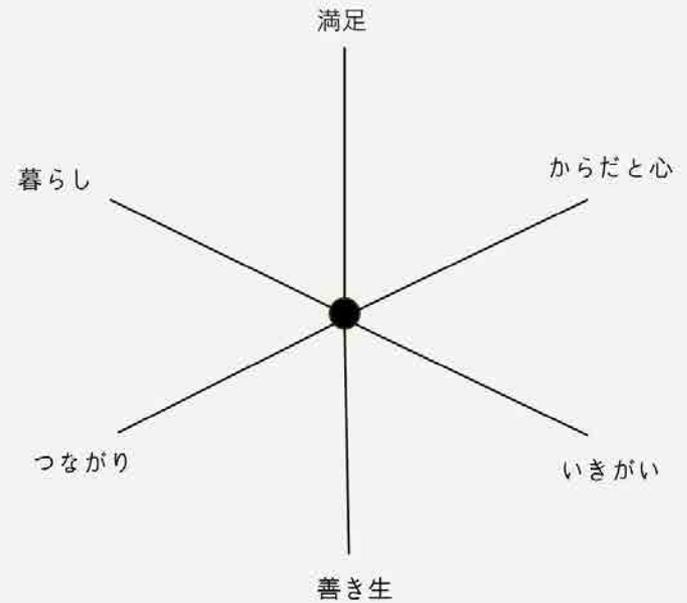
忙しい・時間	子ども	機会・環境・情報	距離	交通手段	介護	健康・元気
20	16	6	5	3	2	3

• 鑑賞するものは、絵画、音楽、映画など

表. 7 鑑賞したいけどできない理由 (n=52)

絵画	美術全般	美術その他	手工芸	陶芸
64	29	15	25	15
音楽	舞台	芸能・演芸	神社仏閣	自然
62	7	6	9	10

多元的な健康 (5つの健康指標)



美術館に行く

博物館に行く

図書館に行く

書店に行く

コンサートやライブに行く

伝統のお祭りへの参加

伝統的お祭り

花を飾る

造形作品を飾る

美術館に行く

鑑賞

博物館に行く

創作活動

読書

図書館に行く

新聞を読む

演奏や歌唱

書店に行く

音楽をきく

コンサートやライブに行く

音楽をきく



文化・芸術的活動

アニメをみる

ファン活動

ファン活動

ラジオをきく

家で映画鑑賞

鑑賞

テレビをみる

映画館に行く

映画館に行く

伝統的お祭りへの参加

イベントへの参加

伝統的お祭りの運営

イベントの運営

SNSをみる

花を飾る

動物の飼育

SNSの投稿

造形作品を飾る

料理

メール使用

美術館に行く

餅つき

インターネット使用

鑑賞

創作活動

趣味がある

ビデオゲームをする

博物館に行く

読書

ダンス

アニメをみる

ファン活動

図書館に行く

ラジオをきく

家で映画鑑賞

書店に行く

新聞を読む

演奏や歌唱

テレビをみる

映画館に行く

音楽をきく

ブに行く

多元的な健康に悪い！

多元的な健康に良い！

表 15 ● 各健康指標に特化し、最もポジティブな関連が強かった文化活動のみを抜粋

健康指標	文化活動	オッズ比 (95% CI)
満足	ダンスをすると、 獲得的幸福感 ↑	2.10 (0.50, 8.67)
からだと心	楽器を演奏すると、 協調的幸福感 ↑	1.18 (0.09, 14.8)
いきがい	映画館に行くと、 主観的健康度 ↑	1.41 (0.09, 21.8)
善き生	鑑賞すると、 精神的健康度 ↑ 感動 ↑、寛容性 ↑、 自己内省 ↑、 孤立度 ↓	1.06 (0.06, 17.8)
	花を飾ると、 感動の共有 ↑、 公共性 ↑、 子孫・未来・地球全 体への貢献 ↑	3.33 (2.31, 4.82)
	造形作品を飾ると、 人生の価値 ↑、 自然とのつながり ↑	2.40 (1.71, 3.41)
	読書をする、 自然への畏怖の念 ↑	2.16 (1.52, 3.09)
つながり	寛容性	2.40 (1.71, 3.41)
	自己内省	3.18 (1.88, 5.72)
	社会や周りの人のため*	0.97 (0.59, 1.35)
	子孫・未来へ貢献	2.15 (1.38, 3.31)
地球全体へ貢献	2.15 (1.46, 3.15)	
つながり	孤立度	0.67 (0.47, 0.95)
	孤独感	2.57 (1.77, 3.79)
	自然とのつながり	2.57 (1.77, 3.79)
	自然への畏怖	2.16 (1.52, 3.09)

* 線形回帰分析を用いて偏回帰係数を推定。その他はロジスティック回帰分析を用いてオッズ比を推定。調整変数: 性、年齢、同居人数、収入。

伝統的お祭りへの参加

イベントへの参加

伝統的お祭りの運営

イベントの運営

SNSをみる

花を飾る

動物の飼育

SNSの投稿

造形作品を飾る

料理

メール使用

美術館に行く

餅つき

インターネット使用

鑑賞

創作活動

趣味がある

ビデオゲームをする

博物館に行く

読書

ダンス

アニメをみる

ファン活動

図書館に行く

ラジオをきく

家で映画鑑賞

書店に行く

新聞を読む

演奏や歌唱

テレビをみる

映画館に行く

音楽をきく

ブに行く

多元的な健康に悪い！

多元的な健康に良い！



アンケート参加者 —「祭り」と「イベント」—

表.9 多面的な健康とお祭りやイベントの参加・運営との関連

		祭り参加		祭り運営		イベント参加		イベント運営	
								(95% CI)	
満足	獲得							0.6	-0.25, 0.77
からだ	心							0.2	-0.33, 1.38
	主精神							0.7	-0.02, 0.58
いきがい	いきがい	0.75	0.38, 1.13	0.31	-0.03, 0.67	0.77	1.44, 1.10	0.64	0.30, 0.98
	人生の価値	1.71	1.16, 2.57	1.09	0.78, 1.53	1.76	1.27, 2.47	1.46	1.05, 2.02
	感動	2.85	1.93, 4.20	2.50	1.65, 3.83	2.91	1.99, 4.28	3.30	2.16, 5.14
	感動の共有	2.04	1.43, 2.91	1.57	1.11, 2.25	1.98	1.42, 2.76	1.49	1.06, 2.10
善き生	寛容性	1.74	1.26, 2.43	1.11	0.82, 1.50	2.08	1.55, 2.78	1.84	1.36, 2.48
	自己内省	1.18	0.78, 1.78	0.81	0.55, 1.20	1.11	0.76, 1.60	1.21	0.80, 1.78
	社会や周りの人のため	0.52	0.24, 0.99	0.30	-0.03, 0.65	0.70	0.38, 1.03	0.53	0.20, 0.87
	歴史の伝承に貢献	3.27	2.33, 4.65	2.64	1.93, 3.62	2.56	1.91, 3.45	2.98	2.20, 4.06
	子孫・未来へ貢献	1.80	1.16, 2.75	1.04	0.67, 1.60	1.95	1.30, 2.94	1.42	0.93, 2.18
	地球全体へ貢献	1.98	1.35, 2.90	1.11	0.76, 1.62	2.78	1.94, 4.00	2.05	1.41, 3.03
つながり	孤立度	0.56	0.40, 0.78	0.79	0.57, 1.09	0.45	0.33, 0.61	0.51	0.37, 0.70
	孤独感	0.45	0.31, 0.65	0.73	0.50, 1.06	0.51	0.36, 0.72	0.70	0.48, 1.00
	歴史とのつながり	3.20	2.24, 4.60	2.96	2.18, 4.05	2.77	2.06, 3.74	3.06	2.27, 4.14
	自然とのつながり	1.29	0.87, 1.88	1.52	1.05, 2.22	2.11	1.49, 2.99	2.22	1.53, 3.26
	自然への畏怖	1.25	0.87, 1.78	1.12	0.80, 1.56	1.27	0.93, 1.74	1.26	0.91, 1.74
暮らし	経済的状況	0.41	-0.05, 0.88	0.38	-0.04, 0.82	0.26	-0.15, 0.67	0.40	-0.01, 0.82
	生活全般	0.49	0.07, 0.91	0.22	-0.16, 0.61	0.19	-0.17, 0.56	0.34	-0.02, 0.72

- 四つとも(祭りに参加・運営、イベントに参加・運営)、全ての健康指標に良い影響が出ている
- 特に祭り・イベント参加者で、ポジティブな関連が強かった
- 33の他の文化活動に比べ、祭りに参加することは歴史に関する指標ととても強い関連性がみられた

OR: ロジスティック回帰分析を用いてオッズ比を推定。B: 線形回帰分析を用いて偏回帰係数を推定。調整変数: 性、年齢、同居人数、収入。

「幸福度」・「心身の健康度」・「孤立・孤独感」 と最も関係しているものは？

生活習慣に関するアンケート

1	性別	11	労働 区分
2	年代	12	飲酒頻度
3	喫煙	13	一日の飲酒量
4	30分以上の運動習慣	14	朝食
5	歩行又は身体活動	15	運動や食生活等の生活習慣改善
6	食べ方 2（就寝前）	16	咀嚼
7	睡眠	17	労働開始時間
8	体重 20歳	18	労働終了時間
9	体重 最高	19	勤務時間
10	最高体重年齢		

「祭り」「地域のイベント」に関するアンケート

1	問23. あなたは、高山で行われるさまざまな伝統的な「祭り」や芸能行事を、運営参加ではなく一般参加者としてどのくらい見に行ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
2	問24. あなたは、高山で行われるさまざまな伝統的な「祭り」や芸能行事の準備や、当日の運営メンバーとして参加する等、これまでそれらに直接かかわったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
3	問25. あなたは、伝統的な行事やお祭りは除く地域のイベント行事（スポーツ大会や地域のBBQなど）に、これまで運営参加ではなく一般参加者として参加したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
4	問26. あなたは、伝統的な行事やお祭りは除く地域のイベント行事（スポーツ大会や地域のBBQなど）の準備や、当日の運営メンバーとして参加する等、これまでそれらに直接かかわったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
5	27-1) 高山で行われるさまざまな「祭り」や芸能行事に関心がある。

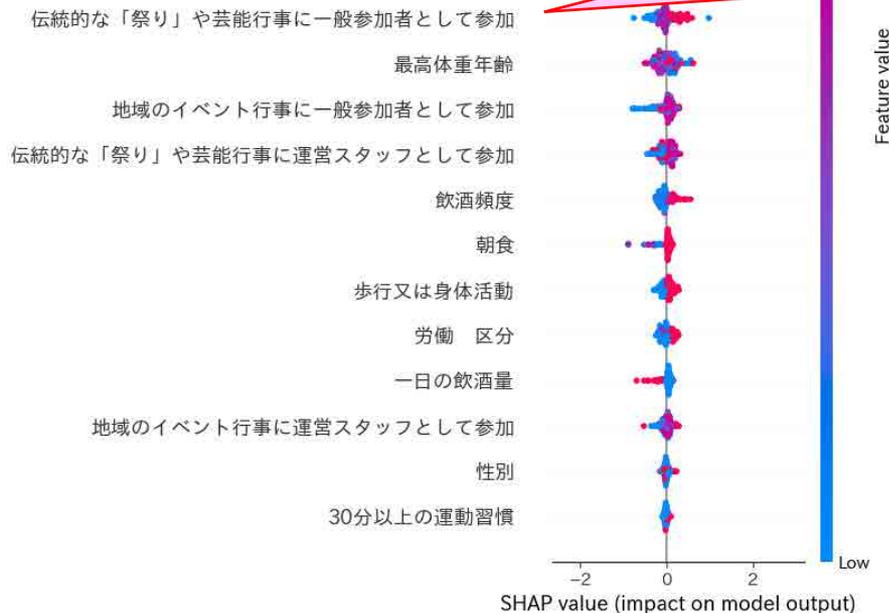
「祭り」と「精神的健康度」との関係

2. 睡眠がとれているほど「精神的健康度」が高いと予測

3. 年齢が高いほど「精神的健康度」が高いと予測

1. 「祭り」・「イベント」への関心が高いと「精神的健康度」が高いと予測

9. 「祭り」・「イベント」に参加する方が「精神的健康度」が高いと予測



「祭り」と「身体的健康度」との関係

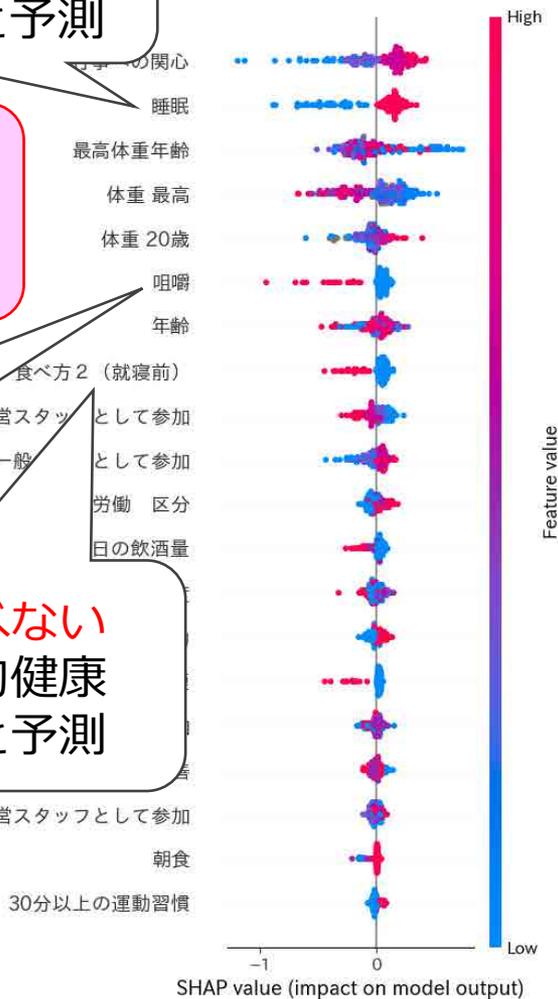
2. 睡眠がとれているほど「身体的健康度」が高いと予測

+ 「イベント」

1. 「祭り」・「イベント」への関心が高いと「身体的健康度」が高いと予測

6. 咀嚼ができるほど「身体的健康度」が高いと予測

8. 寝る前に食べない方が「身体的健康度」が高いと予測



「祭り」と「孤立・孤独感」との関係

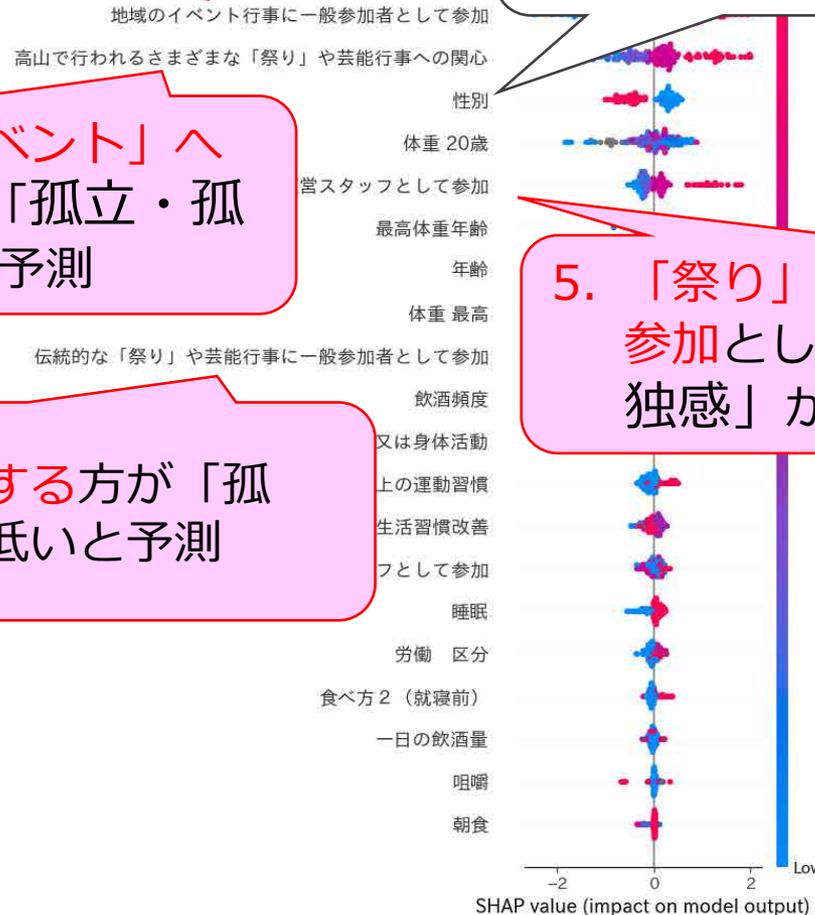
1. 「イベント」に参加する方が「孤立・孤独感」が低いと予測

2. 「祭り」・「イベント」への関心が高いと「孤立・孤独感」が低いと予測

9. 「祭り」に参加する方が「孤立・孤独感」が低いと予測

3. 年齢女性の方が「孤立・孤独感」が低いと予測

5. 「祭り」にスタッフとして参加とした方が「孤立・孤独感」が低いと予測



「祭り」と「孤立・孤独感」との関係

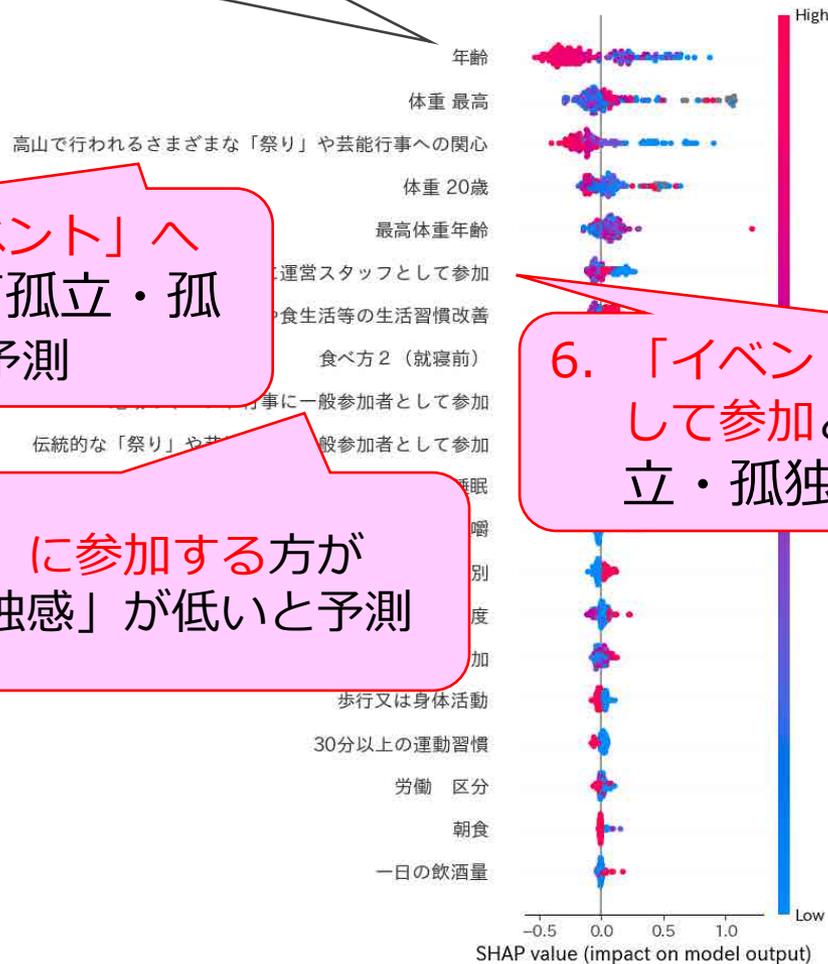
1. 年齢が若いほど「孤立・孤独感」が高いと予測

「祭り」 + 「イベント」

3. 「祭り」・「イベント」への関心が高いと「孤立・孤独感」が低いと予測

9. 「イベント」に参加する方が「孤立・孤独感」が低いと予測

6. 「イベント」にスタッフとして参加とした方が「孤立・孤独感」が低いと予測





ご清聴ありがとうございました。

~~~~~

今後とも、

「高山市もっと元気にプロジェクト」

へのご協力、ご支援のほど、  
何卒、宜しくお願い致します。

MAKE NEW STANDARDS.

東海国立  
大学機構

学び、究め、貢献する



岐阜大学  
GIFU UNIVERSITY